

流域の都市化、狭窄部上流では浸水被害が発生、猪名川下流部は都市群を擁して、交通網が集中しています。

※次は中面
左からご覧
下さい。

猪名川の現状

上流部

流域の都市化

猪名川の上流部は、京阪神地域のベッドタウンとして急速に開発が進行しています。



銀橋を含む狭窄部と上流の市街地（下流から上流を望む）

下流部

都市化の進展

猪名川下流部は、阪神工業地帯の中心である尼崎市、伊丹市などの都市群を擁しています。

交通・交易の大動脈

下流部は大阪空港をはじめ、日本列島の東西を結ぶ交通網（名神高速・阪神高速・中国縦貫道路、山陽新幹線、JR東海道線、阪急電鉄等）が集中しており交通の要所となっております。市街地では

高い堤防のすぐ近くまで家が建ち資産が集中し、ひとたび堤防が壊れると（破堤）、人命が失われ家屋が壊れるなど壊滅的な被害が生じます。

猪名川・神崎川の下流部



堤防に隣接する家屋（猪名川右岸1.8km付近）

猪名川の治水上の課題

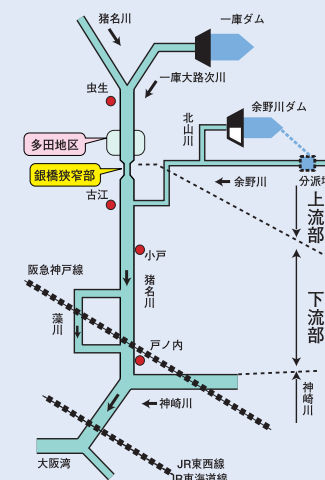
狭窄部上流の浸水被害

狭窄部上流の多田地区では、近年において度々、浸水被害が発生しています。

■昭和58年9月洪水
台風10号猪名川流域浸水実績図



■昭和58年9月洪水被害状況写真



今後の整備方針の概要

●破堤による被害の回避・軽減

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえて、順次堤防の応急的な強化を実施します。また、あわせて被害ポテンシャルを軽減する対策も実施に向けて検討します。

●浸水被害の軽減

狭窄部上流の浸水被害に対しては、下流堤防の破堤の危険性を増大させるような狭窄部の開削は当面できないことから、既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標とした対策の実施に向けて検討します。